



higashiyamato no  
ひがしやまとの



こくさい こうりゅう  
kokusai koryuu



編集・発行

東大和市 市民部 地域振興課 市民協働係

東大和市中心3丁目930番地

電話：042-563-2111（内線1711・1716）

e-mail：chiikisinko@city.higashiyamato.lg.jp

## 「アルゼンチン通信 VOL.2」

### ～JICA ボランティアからの活動報告～

**2018年1月発行**



みなさんこんにちは！日系社会青年ボランティア曾根友美です。アルゼンチンの首都ブエノスアイレスから日本との文化の違いや日系社会について紹介します。

世界三大劇場の一つコロソ劇場に、JICA ボランティアの友人と行ってきました。外観も内装も、とてもエレガントで美しく、音響も良いです。実はこれ、無料コンサートでした（整理券を並んで取ってくれたTさん、ありがとう！）。ブエノスアイレスには無料で楽しめる文化や芸術がたくさんあります。

夜のコロン劇場



## ブエノスアイレスの生活

私が生活して印象に残ったことをご紹介します。ブエノスアイレス市内は、ショッピングモールやレストランがたくさんあり、おしゃれな街です。若者は男女ともに T シャツとジーンズにリュックを持った人が多いです。一日の中で気温の変化が激しいので、脱ぎ着しやすい上着は必須です。日本と同じく、電車やバスではスマートフォンを持っている方がとても多いです。日本では LINE

を使っている人が多いですが、アルゼンチンでは WhatsApp (ワッツアップ) というアプリケーションを使っている人が多いです。

一方で、街には路上生活者もたくさんいます。子どもを連れた女性や、障害のある方などが道にいて、寄付を求めています。ごみを収集している人もいます。これには、アルゼンチンの経済に大変な時期があったこと、中南米のほかの国から仕事を求めてブエノスアイレスにたくさんの方が来ていることが関係していると考えられます。大通りでは、デモ運動やストライキの行進が行われていることがあります。もし皆さんが旅行にいらっしゃる際には、デモなどに巻き込まれないようにご注意ください。



大通りのデモ行進  
もし出会ったらすぐ離れましょう

## 日本との税金や物価のちがい

消費税は21%で、国立の病院は無料(ただしかなり長く待つそうです。幸い私は病院にかかっていないので実際様子はわかりません)、日本でいうと小学校から高校まで義務教育で、大学も国立大学は無料です。学校は1~2月は夏休みです。

日曜日の朝市



レストランや洋服は日本と同じか少し高め感じます。紙やプラスチックなど生活雑貨も値段は高めです。電車やバスは日本より安いです。地下鉄はだいたい60円くらいです。光熱水費も安いです。ワインが一番安いと200円くらいから売っていて、1000円以下で美味しいワインを買うことができます。果物は日本より安くて、八百屋さんか日曜日の朝市で買っています。

アルゼンチンは、インフレーション傾向だそうで、JICA ボランティアの先輩たちは、2年の間にかなり物価が上がってきたと話しています。

※私の主観的な感想を含みます。ご旅行の際は詳しくは外務省ホームページ等ご確認ください。



Aさんの洗濯屋さん「TOKYO」

## アルゼンチンの日系社会

私は、ブエノスアイレスで、沖縄県出身の日系人の大家さんにワンルームのマンションを借りて暮らしています。大家さんのAさんは、子どもの頃に沖縄からご両親とともにボリビアの日本人の移住地へ移住。大人になってからアルゼンチンへ転住して、現在は共働きの娘夫婦のため、お孫さんの世話をしながら、クリーニング店を営まれています。

アルゼンチンに住んでいる日系人は、中南米のほかの国から移ってきた人が多いことが特徴です。また、アルゼンチンの日系人の約7割は沖縄出身の方です。職業は、花卉栽培の農家や洗濯屋さんが多いです。日本人が移住してきた当初、言葉の壁があっても仕事をしていくた

めに、日本人の手先の器用さや仕事の丁寧さを生かした職業が発展したと考えられます。

Aさんは、食器棚の取り付けや、水漏れの修理など、たいいていことは修理工に頼まず、自分で修理をしてくれます。知らない業者に頼むよりも、自分でやったほうが確実なのだそうです。

2才のお孫さんは、スペイン語を話しますが、いくつか日本語を知っています。



↑バスルームを修理中の大家さんと娘さん

←掃除を手伝ってくれる大家さんの娘さんとお孫さん

## ボランティア活動の内容

私は、2年間、在亜日系団体連合会(FANA)に所属し、ソーシャルワーカーとして、高齢者福祉の向上や日系子弟への福祉に関する普及啓発を目的に活動しています。FANAは、37の日系団体が加入しており、アルゼンチン政府や日本大使館とのやり取りの窓口を担っています。

活動としては、各日系団体の敬老会や、老人クラブ、高齢者のお楽しみ会などを訪問し、介護予防の体操やレクリエーションを行っています。日系1世の方々は、日本語でおしゃべりをして、日本の歌を歌い、日本のご飯を食べる集まりを楽しみにされています。また、日本語学校で福祉授業を行う予定です。



←月 1 回、沖縄県人会館で行われているお楽しみ会(AUN)で介護予防体操をしました。

AUN を運営されているボランティアさんたちと一緒に→



## アルゼンチンのごはん



←【ミラネッサ ア ラ ナポリターナ ポテトフライ添え】  
イタリア系移民が多いためか、イタリア料理がとても人気があります。中でも、このミラネッサは、定番の家庭料理です。ミラネッサとは、たたいてのばした牛肉のカツレツのことで、その上にハムやチーズ、トマトソースなどを載せると、ミラネッサ ア ラ ナポリターナになります。



### 【ポストレ ビヒランテ】

定番の庶民のデザートです。ポストレはデザートのこと、ビヒランテは警備員のことだそうです。かりんで作ったようかんのようなあまいもので、チーズと一緒に食べます。ほかに、サツマイモ味もあります。(ちょっといもようかんに似ています。)

- 名前: 曾根 友美(そね とみみ) 36 歳
- 都立東大和南高校出身
- 日系社会青年ボランティア・ソーシャルワーカー
- 2017 年 6 月から 2 年間 アルゼンチンの首都ブエノスアイレスで活動
- 活動内容: アルゼンチンの日系社会における高齢者への介護予防の体操や、子どもたちへの福祉への意識向上のための福祉授業などを行っています。



Facebook: <https://www.facebook.com/tomy.chocolate>